

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅰ (脳神経)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	2 年前期 令和 4 年	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅰの単元は以下のとおり ・ 脳神経：15 時間 ・ 感覚器 15 時間
担当講師名	麻生 謙太	所属・職位	県立宮古病院脳神経外科科長兼 リハビリテーション科長
		資格・免許	医師
授業の概要	系統別疾患の病態・治療・検査を理解する		
到達目標	1. 神経の成り立ちと、脳と脊髄の構造を理解し、脳・脊髄の障害部位と発症症状とを関連させ理解できる 2. 脳・脊髄の障害された部位や、程度に対応する症状の病態生理について理解する 3. 脳・神経疾患の治療・検査の方法を理解する		
事前学習内容	脳・神経の解剖生理を復習しておく（必須）		
成績評価の方法	試験による評価(100 点満点)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ脳・神経 成人看護学⑦		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 2 章 脳・神経系の構造と機能		講義
第 2・3 回	第 3 章 症状とその病態生理		
第 4・5 回	第 4 章 検査・診断と治療・処置		
第 6・7 回	第 5 章 疾患の理解		
履修上の留意点	1. 1 年次に学習した、本科目に関連した解剖学・生理学の学習内容を復習し、さらに専門的な知識を習得するように努力する 2. 不明な点は放置せずに自分で調べたり、質問したりして積極的に授業に臨む		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅰ (感覚器)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾病の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	2年前期 令和4年	単位数/時間	1単位/30時間 疾病と治療Ⅰの単元は以下のとおり ・ 脳神経：15時間 ・ <u>感覚器：15時間</u>
担当講師名	人見 晶	所属・職位	岩手県立宮古病院・循環器内科医長
		資格・免許	医師
授業の概要	系統別疾患の病態・治療・検査を理解する		
到達目標	1. 感覚器の構造と機能を理解できる 2. 疾患の病態・治療・検査を理解できる		
事前学習内容	本単元に関連する既習の内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	医学書院：成人看護学⑫皮膚、成人看護学⑬眼、成人看護学⑭耳鼻咽喉		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	【皮膚】 第2章 皮膚の構造と機能 第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療・処置		講義
第2回	第5章 疾患の理解①		
第3回	第5章 疾患の理解②		
第4回	【眼】 第2章 眼の構造と機能 第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療 第5章 疾患の理解①		
第5回	第5章 疾患の理解②		
第6回	【耳鼻咽喉】 第2章 耳鼻咽喉・頸部の構造と機能 第3章 症状とその病態生理 第4章 検査と治療 第5章 疾患の理解① 耳疾患、鼻疾患		
第7回	第5章 疾患の理解② 口腔・咽喉頭疾患、気道・食道・頸部疾患と音声・言語障害		
履修上の留意点	1. 不明な点は放置せずに自分で調べたり、質問したりして積極的に授業に臨む 2. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講師に、感謝の気持ちをもって授業に臨む		

令和3年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅱ (呼吸器系)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進	
開講年次・時期	1 年後期 令和 3 年 12 月 2 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 治療と疾病Ⅱは呼吸器系：15 時間と 環器系：15 時間を合わせて 1 単位となる	
担当講師名	宮本伸也	所属・職位	県立山田病院 病院長	
		資格・免許	医師	
	平野邦夫	所属・職位	県立宮古病院	
		資格・免許	医師	
授業の概要	呼吸器系疾患の病態、治療、検査を学ぶ			
到達目標	呼吸器系疾患の病態、治療、検査について理解できる			
事前学習内容	呼吸器系に関する解剖生理学・病理学の復習を行う			
成績評価の方法	終講試験による評価（100 点） 、受講態度 、出席状況			
使用テキスト	成人看護学② 呼吸器 （第 4 版第 3 刷、メヂカルフレンド社）			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態	担当
第 1 回	呼吸器の病態生理		講義	宮本
第 2 回	呼吸器疾患の主な症状		講義	宮本
第 3 回	呼吸器疾患の診断と検査		講義	宮本
第 4 回	主な呼吸器疾患とその診療① 呼吸器感染症		講義	平野
第 5 回	主な呼吸器疾患とその診療② 気道疾患、胸膜疾患		講義	平野
第 6 回	主な呼吸器疾患とその診療③ 縦隔疾患、横隔膜疾患 間質性肺炎		講義	平野
第 7 回	主な呼吸器疾患とその診療④ 肺循環障害、換気異常、 肺腫瘍、胸部外傷・救急時の対応		講義	平野
履修上の留意点	・教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること ・授業毎の予習・復習を確実に行うこと ・主体的に授業に臨んで欲しい			

令和 3 年度 59 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅱ (循環器系)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 3 年 10 月 4 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 治療と疾病Ⅱは呼吸器系：15 時間、循環器系：15 時間を合わせて 1 単位となる
担当講師名	前川 裕子	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	循環器系疾患の病態、治療、検査を学ぶ		
到達目標	循環器系疾患の病態、治療、検査について理解する		
事前学習内容	循環器系に関する解剖生理学・病理学の復習を行うこと		
成績評価の方法	終講試験による評価（100 点）、出席状況		
使用テキスト	成人看護学③「循環器（第 5 版）」 メジカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 1 章 循環の構造と機能		講義
第 2 回	第 2 章 循環器の症状と病態生理		講義
第 3 回	第 3 章 循環器疾患にかかわる診察・検査・治療		講義
第 4 回	第 4 章 循環器の疾患と診療①		講義
第 5 回	第 4 章 循環器の疾患と診療②		講義
第 6 回	第 4 章 循環器の疾患と診療③		講義
第 7 回	総括		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること ・授業毎の予習・復習を確実に行うこと ・主体的に授業に臨んで欲しい 		

令和 3 年度 59 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅲ (消化器系)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 3 年 10 月 5 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅲは、口腔・歯科：8 時間と 消化器系：15 時間、内分泌・代謝：8 時間 の 3 科目を合わせて 1 単位となる
担当講師名	吉田 健	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	消化器系疾患の病態、治療、検査を学ぶ		
到達目標	消化器系疾患の病態、治療、検査について理解する		
事前学習内容	消化器系に関する解剖生理学・病理学の復習を行うこと		
成績評価の方法	終講試験による評価（100 点満点）、受講態度、出席状況		
使用テキスト	成人看護学⑤「消化器（第 5 版）」 メジカルフレンド社		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	食道の疾患の病態・症状・検査・治療法		講義
第 2 回	胃の疾患の病態・症状・検査・治療法		講義
第 3 回	腸の疾患の病態、症状、検査、治療法		講義
第 4 回	大腸癌・虫垂炎・肝臓疾患の病態・症状・検査・治療法		講義
第 5 回	胆嚢・肝臓の疾患の病態・症状・検査・治療法		講義
第 6 回	膵臓・肝の疾患の病態・症状・検査・治療法		講義
第 7 回	肝の疾患の病態・症状・検査・治療法		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること ・授業毎の予習・復習を確実に行うこと ・主体的に授業に臨んで欲しい 		

令和 3 年度 59 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅲ (口腔・歯科)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 4 年 1 月 26 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅲは、口腔・歯科：8 時間と消化器系：15 時間、内分泌・代謝：8 時間の 3 科目を合わせて 1 単位となる
担当講師名	大川 義人	所属・職位	大川歯科クリニック・院長
		資格・免許	歯科医師免許、日本歯周病学会認定医
授業の概要	口腔・歯科疾患の病態、治療、検査について理解する。		
到達目標	看護師として、必要最低限の口腔領域に関する知識を習得し、患者の信頼を得る人材となることを目標とする		
事前学習内容	口腔領域に関する解剖生理を復習すること（テキスト第 2 章の予習を含む）		
成績評価の方法	筆記試験、講義時の各人の口頭試問等		
使用テキスト	成人看護学⑮ 歯・口腔（医学書院、第 14 版）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回 1/27	歯科・口腔学概論		講義
第 2 回 2/2	歯科疾患、外傷、口腔粘膜疾患		講義
第 3 回 2/9	全身疾患と歯科疾患の関連、口腔ケアの必要性		講義
第 4 回 2/16	まとめ		講義
2/21 頃予定	終講試験		
履修上の留意点	・講義開始までに教科書に目をとおしておくこと		

令和3年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅲ (内分泌・代謝)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1年後期 令和3年10月4日	単位数/時間	1単位/30時間 疾病と治療Ⅲは、口腔・歯科：8時間と消化器系：15時間、内分泌・代謝：8時間の3科目を合わせて1単位となる
担当講師名	大久保 仁	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	内分泌・代謝疾患の病態、治療、検査を学ぶ		
到達目標	内分泌・代謝疾患の病態、治療、検査について理解する		
事前学習内容	内分泌・代謝系に関する解剖生理学・病理学の復習を行うこと		
成績評価の方法	筆記試験（100点）、受講態度、出席状況		
使用テキスト	成人看護学⑥ 内分泌・代謝 第15版（医学書院）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	内分泌・代謝器官の構造と機能		講義
第2回	内分泌代謝疾患の症状とその病態生理・診断・治療①		講義
第3回	内分泌代謝疾患の症状とその病態生理・診断・治療②		講義
第4回	内分泌代謝疾患の症状とその病態生理・診断・治療③		講義
	終講試験		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること ・授業毎の予習・復習を確実に行うこと ・主体的に授業に臨んで欲しい 		

令和4年度 60回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅳ (血液・造血器)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1年後期 令和4年〇月〇日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の3単元で構成される ・ 血液・造血器：10時間 ・ 運動器：10時間 ・ アレルギー：10時間
担当講師名		所属・職位	岩手県立宮古病院 呼吸器科
		資格・免許	医師
授業の概要	血液・造血器疾患の病態・検査・治療を学ぶ		
到達目標	血液・造血器疾患の病態・検査・治療を理解する		
事前学習内容	本単元に関する人体の構造と機能の学習内容を復習しておく		
成績評価の方法	試験による評価(〇〇点)、授業を受ける態度、出席状況		
使用テキスト	成人看護学④ 「血液・造血器 第15版第3刷」 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第3章 p34～51 検査・診断と症候・病態生理		講義
第2回	第4章 疾患と治療の理解 A. 赤血球系の異常		講義
第3回	第4章 疾患と治療の理解 B. 白血球系の異常、C. 造血器腫瘍①		講義
第4回	第4章 疾患と治療の理解 C. 造血器腫瘍②		講義
第5回	第4章 疾患と治療の理解 D. 出血性疾患		講義
	終講試験		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること 授業毎の予習・復習を確実に行うこと 授業内容で分からない部分は、その場で質問し解決するなど主体的に授業に臨んで欲しい 		

令和 3 年度 59 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ (アレルギー・膠原病)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 3 年 12 月 7 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅳは運動器系 : 10 時間、アレルギー・膠原病 : 10 時間、血液・造血器 10 時間の 3 科目を合わせて 1 単位となる
担当講師名	吉田 健	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	アレルギー・膠原病疾患の病態、治療、検査を学ぶ		
到達目標	アレルギー・膠原病疾患の病態、治療、検査について理解できる		
事前学習内容	アレルギー・膠原病疾患に関する解剖生理学・病理学の復習を行う 各項目第 1 章 2 章は事前に学習する		
成績評価の方法	終講試験による評価（100 点）、受講態度、出席状況		
使用テキスト	成人看護学⑪ 「アレルギー 膠原病 感染症」（第 15 版第 2 刷 医学書院）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	膠原病・アレルギー・感染症の概要		講義
第 2 回	アレルギー疾患の病態生理・症状・診断・治療		講義
第 3 回	膠原病の病態生理・症状・診断・治療		講義
第 4 回	感染症の病態生理・症状・診断・治療		講義
第 5 回	感染対策		講義
	終講試験		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること ・授業毎の予習・復習を確実に行うこと ・主体的に授業に臨んで欲しい 		

令和 3 年度 59 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅳ (運動器系)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 3 年 10 月 7 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅳはアレルギー・膠原病：10 時間と運動器系：10 時間、血液・造血器 10 時間の 3 科目を合わせて 1 単位となる
担当講師名	白倉 義博	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	運動器系疾患の病態、治療、検査を学ぶ		
到達目標	運動器系疾患の病態、治療、検査について理解する		
事前学習内容	運動器系に関する解剖生理学・病理学の復習を行う		
成績評価の方法	終講試験による評価（100 点）、受講態度、出席状況		
使用テキスト	成人看護学⑪ 運動器 第 4 版（メヂカルフレンド社）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 1 章 運動器の構造と機能		講義
第 2 回	第 2 章 運動器の症状と病態生理		講義
第 3 回	第 3 章 運動器疾患にかかわる診察・検査・治療		講義
第 4 回 ・ 第 5 回	第 4 章 運動器疾患と診療 <ul style="list-style-type: none"> ・骨折、捻挫、打撲、脱臼 ・筋・腱・人体の損傷・疾患 ・神経の損傷・疾患 ・脊椎の疾患 ・先天性の疾患 ・骨・関節の炎症性疾患 ・上肢・下肢の疾患 ・ロコモティブシンドローム・運動器不安定症・廃用症候群 ・骨腫瘍・軟部腫瘍 ・代謝性骨疾患 		講義
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること ・授業毎の予習・復習を確実に行うこと ・主体的に授業に臨んで欲しい 		

令和4年度59回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅴ (女性生殖器)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	2 年後期 令和 4 年後期	単位数/時間	1 単位/30 時間 本科目は以下の単元で構成される ・ <u>女性生殖器：10 時間</u> ・ 腎・泌尿器：10 時間 ・ 放射線医学：10 時間
担当講師名		所属・職位	岩手県立宮古病院 産婦人科長
		資格・免許	医師
授業の概要	女性生殖器の形態と構造を理解し、性腺の発育、ホルモンの動態、妊娠を学ぶ。 また、疾患の病態・治療・経過を学び、患者のアセスメントや必要な援助に結び 付ける基盤となる知識を習得する		
到達目標	1. 女性生殖器の形態と構造、性腺の発育や性ホルモンの動態、妊娠について理 解する 2. 疾患の病態を理解し、その診断・検査・治療・経過を理解する 3. 種々の検査の目的・方法を理解する		
事前学習内容	テキストの範囲の解剖生理学(特に、女性生殖器の構造やホルモンの分泌)を復習 しておく		
成績評価の方法	試験(100 点)		
使用テキスト	ナーシング・グラフィイカ E X疾患と看護⑨女性生殖器		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	1. 女性生殖器の構造と機能 p12～ 2. 女性生殖器の異常でみられる症状 p 20～		講義
第 2 回	3. 婦人科の診察・検査 p37～		
第 3 回	4. 婦人科で行われる主な治療と処置 p 79～		
第 4 回 ・ 第 5 回	5. 女性生殖器の疾患 p126～ ①月経に関連する疾患②性器の炎症・性感染症③子宮の疾患 ④卵巣・卵管の疾患⑤性分化疾患・性器形態異常 ⑤不妊症・不育症⑥更年期・老年期の疾患		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する 3. 新型コロナウイルス禍にある過酷な状況の中で授業に来ていただいている講 師に、感謝の気持ちをもって授業を受ける		

科目名	疾病と治療Ⅴ (腎・泌尿器)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	2年後期 令和4年11月30日	単位数/時間	1単位/30時間 本科目は以下の単元で構成される ・ 女性生殖器：10時間 ・ <u>腎・泌尿器：10時間</u> ・ 放射線医学：10時間
担当講師名	森若 誠	所属・職位	岩手県立宮古病院 泌尿器科長
		資格・免許	医師
授業の概要	泌尿器科における疾患の病態・検査・治療を理解する		
到達目標	1. 腎・泌尿器の形態と構造を理解する 2. 疾患の病態を理解し、その診断・検査・治療・経過を理解する		
事前学習内容	1年次に学習した腎・泌尿器に関連する内容(解剖学、生理学)を復習しておく		
成績評価の方法	試験(100点)		
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧ (医学書院)		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第2章 腎・泌尿器の構造と機能		講義
第2回	第3章 症状とその病態生理 尿の異常、排尿に関連した症状、浮腫、脱水、循環器系の異常 血液の異常、尿毒症、疼痛、腫脹・腫瘤、その他の症状		
第3回	第4章 検査と治療・処置 診察、検査、治療と処置、排尿管理、透析療法、腎移植		
第4・5回	第5章 疾患の理解 腎不全とAKI・CKD、ネフローゼ症候群、糸球体腎炎 全身性疾患による腎障害、尿細管間質性腎炎、腎血管性病変 尿細管機能異常、妊娠高血圧症候群、尿路・性器の感染症 尿路の通過障害と機能障害、尿路損傷および異物、尿路結石症 尿路・性器の腫瘍、発生・発育の異常 男性不妊症・男性性機能障害、その他の男性生殖器疾患		
履修上の留意点	1. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業を受ける 2. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和4年度 59回生 授業概要(シラバス)

科目名 (単元)	疾病と治療Ⅴ (放射線医学)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	2年後期 令和5年1月末～ 2月上旬	単位数/時間	1単位/30時間 疾病と治療Ⅴは、女性生殖器、腎・泌尿器、放射線医学の3単元各10時間で構成される。本授業は放射線医学の単元の10時間のうち6時間を占める
担当講師名	南久保ひとみ先生	所属・職位	岩手県立釜石病院・主任看護師
		資格・免許	がん放射線療法看護認定看護師
授業の概要	放射線の種類・検査・診断・治療・看護・防護を学ぶ		
到達目標	1. 放射線治療を受ける患者・家族の特徴をふまえ、放射線治療における看護師の役割を理解する 2. 各疾患の放射線治療や有害反応とその対処法を理解する 3. 放射線による影響や放射線防護について理解する		
事前学習内容	授業内容に関連する内容を教科書で確認する		
成績評価の方法	筆記試験による評価：100点満点のうちの60点分		
教科書	系統別看護学講座 別巻 臨床放射線医学(第10版), 医学書院, 2021.		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 画像診断と看護		講義
第2回	第9章 放射線治療と看護		講義
第3回	第10章 放射線治療各論 第11章 放射線による障害と防護		講義
履修上の留意点	1. 実習での経験を思い出しながら授業に臨む 2. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとってから授業に臨む 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する		

令和4年度 59 回生 授業概要(シラバス)

科目名	疾病と治療Ⅴ (放射線医学)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾患の成り立ちと回復の促進	
開講年次・時期	2 年後期 令和 5 年 1 月 30 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅴは、女性生殖器、腎・泌尿器、放射線医学の 3 単元各 10 時間で構成される。本授業は放射線医学の単元の 10 時間のうち 4 時間を占める	
担当講師	伊藤 功也先生	所属・職位	岩手県立宮古病院 放射線技術科 副診療放射線技師長	
		資格・免許	診療放射線技師	
	中川 雄介先生	所属・職位	岩手県立宮古病院 放射線技術科 主任診療放射線技師長	
		資格・免許	診療放射線技師	
授業の概要	放射線の種類・検査・診断・治療・防護を学ぶ			
到達目標	1. X 線診断・CT・MRI の特徴を理解する。 2. X 線診断・CT・MRI 検査の実際を理解する。 3. IVR・血管造影の特徴を理解する 4. IVR の看護に役立てるために、その種類と方法を理解する			
事前学習内容	授業範囲の教科書の内容に目をとおしておく			
成績評価の方法	筆記試験による評価(40 点/100 点満点)			
使用テキスト	臨床放射線医学(第 10 版), 医学書院, 2021.			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態	担当
第 1 回	第 2 章 X 線診断 第 3 章 CT 第 4 章 MRI		講義	
第 2 回	第 7 章 IVR・血管造影 A. IVR・血管造影の特徴 B. IVR のなりたち C. IVR の実際とおもな副作用		講義	
履修上の留意点	1. 実習での経験を思い出しながら授業に臨む 2. 教科書の本授業に関連する内容に必ず目をとおしてから授業に臨む 3. 分からないことはそのままにせず、疑問を解決できるように行動する			

令和3年度 59回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅵ (外科総論)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾病の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1年後期 令和3年10月5日	単位数/時間	1単位/30時間 疾病と治療Ⅵは、外科総論：15時間と外科各論：15時間を合わせて1単位となる
担当講師名	川島 到真	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	外科的診断・治療、手術侵襲と生体反応などの基礎的知識、周手術期にある患者の特徴について学ぶ		
到達目標	外科的診断・治療、手術侵襲と生体反応などの基礎知識、周手術期にある患者の特徴について理解できる		
事前学習内容	次の授業範囲を予習した上で臨むこと		
成績評価の方法	終講試験による評価（100点）、受講態度、出席状況		
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 第11版（医学書院）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第1回	第1章 外科医療の基礎 p12～52		講義
第2回	第2章 外科的治療を要する疾患・症状 p54～74		講義
第3回	第3章 外科的治療を支える分野 p76～142		講義
第4回	第4章 外科的治療の実際① p144～182		講義
第5回	第4章 外科的治療の実際② p144～182		講義
第6回	第5章 救急処置法の実際 p184～192		講義
第7回	救急処置法の実際（校内演習）		演習
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書、事前に配布される資料には必ず目をとおしてから講義に臨むこと ・グループワークには積極的に参加すること ・解剖生理・病態学を復習し、授業に臨むこと 		

令和 3 年度 59 回生 授業概要（シラバス）

科目名	疾病と治療Ⅵ (外科各論)	分野/教育内容	専門基礎分野/ 疾病の成り立ちと回復の促進
開講年次・時期	1 年後期 令和 3 年 12 月 13 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 疾病と治療Ⅵは、外科総論：15 時間と外科各論：15 時間を合わせて 1 単位となる
担当講師名	藤 社 勉	所属・職位	県立宮古病院
		資格・免許	医師
授業の概要	外科的疾患の病態、治療、検査を学ぶ		
到達目標	外科的疾患の病態、治療、検査について理解できる		
事前学習内容	以下の科目を予習・復習し、授業を受けること (解剖学、生理学、外科総論、消化器疾患、呼吸器疾患、循環器疾患)		
成績評価の方法	終講試験による評価（100 点）、受講態度、出席状況、（レポート等課題による評価）		
使用テキスト	系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論（第 9 版第 4 刷、医学書院）		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	第 1 章 肺および胸部の疾患		講義
第 2 回	第 2 章 心臓および脈管系の疾患		講義
第 3 回	第 3 章 消化器および腹部の疾患 A. 食道の疾患、B. 胃・十二指腸の疾患		講義
第 4 回	第 3 章 消化器および腹部の疾患 C. 腸・腹膜の疾患		講義
第 5 回	第 3 章 消化器および腹部の疾患 D. 肝・肝外胆道系の疾患、G. 膵臓の疾患、H. ヘルニア		講義
第 6 回	第 5 章 頭部および頸部の疾患		講義
第 7 回	第 6 章 小児の外科疾患		講義
	終講試験		
履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> 教科書や事前配布の資料には、必ず目をとおしてから授業を受けること 授業毎の予習・復習を確実に行うこと 主体的に授業に臨んで欲しい 		